

②列車に乗れば気が晴れて、というか科研費の作成も忘れる 2 人の大学教員、
天気も上々となり、軽くなった身を次の列車に預けたい。



ようやく K 先生が広島から到着。乗継ま
でのわずかな時間に何やら手配したお弁
当を受け取るそうである。

三次駅に駅弁？

「駅弁大学」なんて言葉があったように
かつては 5 万人程度の人口があった町々
の駅には駅弁が売っていたものである。
こんなことを書いていると年齢がバレそ
うであるが・・・それはとにかく電話し
て注文したそうである。これは後々紹介
したい。

お弁当を片手に K 先生が現れた。

何やら楽しそうである。

次の列車は、三次発 10 時 47 分、備後落
合行き。3 番線備後落合より側のホームか
ら発車である。

キハ 120 単行である。

K 先生とともに乗り込む。すぐに発車。

車窓から広い三次駅の構内が伺える。

側線の向こう側にターンテーブルがある。

(窓から撮影したので反射像が写っています。心靈写
真ではありません。)

かつて蒸気機関車が華やかなりし頃の名
残であろうか？もし動かそうなら、津
和野駅のように蒸気機関車を入れて広島
～三次～備後落合、更には新見か木次ま
で運行できたら、夢のようである。もち
ろんお金が (たくさん) かかることであ
るだが、備後落合の (朽ちてしまった)





ターンテーブルも復活させることもできれば備北にも十分な鉄道観光資源ができることであろうし、何よりも鉄道を利用する人々がこの地域を訪れるであろう。丘陵公園やかんぼ温泉だけではさみしいし、何よりも決定打に欠ける。ここは周辺自治体からも出資を分け合いながら実現できないものであろうか？



というようなこと考えているうちに列車はさっき通った神杉駅に到着した。

この駅は周囲の植え込みや木々が美しいシュロ、コスモス、サクラなどなどいつの季節にも見栄えがする植物が植わっていた。御近所の方々によってであろうか、とても丁寧にそして美しく手入れがなされている。こんないい駅をみると通りすがりに美人を目にした時と同じような感じになるのは私だけだろうか？「秘境駅」のようにワビサビを感じて駅を愛でるように、綺麗に手入れされ、利用者に愛されていることを感じずにはられない駅を美人になぞらえて「美景駅」とでもいいたくてしまおう。そんな感覚である。



(窓から撮影したので反射像が写っ

ています。心霊写真ではありません。)列車は先ほど通った駅々を過ぎて朝出発した木造屋根が渋い備後庄原駅に到着した。個人的には美景駅とまではいかないまでもなかなか味のある駅で「うまみ駅」なんていったら怒られるであろうか?11時20分発。ここからさらにY先生も乗り込む。これで今日の旅(取材出張)の参加者が全てそろそろ。キハ120はまたゆっくりと走りだした。



(これも窓越し撮影したので反射像が写っています。ごめんなさい。)

西城川沿いでは時速15キロ制限でゆっくり走る。右手、左手に西城川が代わってゆく。この先、高、平子とうまみ駅を過ぎてゆく。高駅はかつて2面2線の行き違い可能駅で手入れもよかった美景駅であったが、1面は撤去され、山ノ内駅のような往時を想像させる寂しさ(これもうまみかな)が残るのみだったのが残念であった。

国道183号線に沿って西城川と芸備線が備後落合に向かって走ってゆく。



183号線をまたぐ踏切の手前にある平子駅、国道に車を待たせたまま駅に止まる列車。この駅、綺麗に整備された愛らしい駅である。もうちょっとで美景駅かなと思う。



列車はどんどん進み西城川を渡る。ちょっと溪流めいた場所をまた列車は15キロ規制に伴う徐行運転を行う。

芸備線と国道を兩岸に従え、西城川が流れる。そしてそのわきにはサクラ並木。そこゆっくり列車が徐行してゆく。

春。サクラが咲くころ、ここは本当に景色が良いところとなる。ボンボリも灯され夜桜もきれいである。



(これも窓越し撮影したので反射像が写っています。ごめんなさい。)

まるで高架橋のような線路をゆく。街道筋の町並みが美しい西城に至る。

実はこの街並みにはアップパイで有名な「アラキベーカリー」のような、もっと知ってほしい名店がある。おいしいアップルパイをはじめショートケーキやアーモンドクッキーもこの通りの店舗で購入できると思うので、訪れて、是非、賞味してほしい(アラキベーカリー：広島県庄原市西城町西城189-1 (08248-2-2715))。このアップルパイ、庄原ゆめさくらや庄原かんぼの宿でも購入できるので、参考までに。



K先生いわく駅前商店に歴史あり、まさにそんな感じである。

たしか、山ノ内駅～七塚駅の間にも「乳団子」で有名な和泉光和堂さんの本社工場（広島県庄原市七塚町 1620-1 : 0824-74-0521）もあり、芸備線（三次～備後落合間）周辺での有名店がまだまだある。芸備線沿線備北スイーツ（グルメ）の探索も面白いと思うのでいつかやってみたいと思う。

西城川がきれいである。このまちもいずれ詳しく「ロケハン」したいものである。



ロケハンなんて考えているうちに映画「ヒナゴン」でも撮影された駅舎を持つ美景駅である備後西城駅を過ぎ、いよいよ列車は山間部（もう充分山間だが）に入る。

ここは中国山地の真っただ中。さすがここまでくるとほんとに山々が目の前に迫る。景色がいい。



線形も良く列車は少しスピードを上げる。観光列車が走ってほしいところである。

Y先生、K先生とも列車に浸っているようだ。

キハ 120 は比婆山駅に到着。かつては急行列車の発着駅。もうそんな面影はなく、使われなくなったホームが残る。うまみ駅充分である。もう少しで美景駅だろうか。



キハ 120 はどんどん備後落合に向けて山に入る。15 キロ規制をゆるゆる頑張って列車は上ってゆく。

左に西城川を臨みながら、その端（へち）をゆっくり走行する。

なんとしても陰陽連絡線を作ろうした当時の人々の執念を感じる行程である。線路が常にきしむ。また、きしむ。キハ 120 もきしむ。



キハ 120 は鉄道マニアからはその無機質な外観から、あまり好評とは言い難い車両であるが、個人的には好きな車両である。導入当時はトイレもなく確かに大変な車両であったが、地元自治体の協力（出資）もあり、特急車両にでもあるようなとても清潔なトイレが設置されている。



便座アルコールから音姫まで、更に使用後にはブルーレット？溶液で後始末！これで、最近はやりの鉄女・鉄



娘にも安心して鉄道旅ができると思う。鉄女・鉄娘に限らず鉄道利用者によって快適な旅や移動は大切な要素である。キハ120が芸備線キハ47系に勝るのはこの点だと思っている。それはさておき、遂に列車は今日の第一目的地備後落合に到着した。12時05分定刻。Y先生が早速シャッターを切る。芸備線きっての美景駅&秘境駅である。



かつては多くの側線とターンテーブルを有した大きな構内を持つ駅。木次線(日本海側)への接点でもある。

多くの側線に、錆ついたポイント、山々の谷に消える分枝線。鉄道マニアの聖地とは良く言ったものだ。

木次線 標準時刻 Kisuki Line Timetable		芸備線 標準時刻 Geibi Line Timetable	
穴道 方面 for Shiro	三次 方面 for Miyoshi	新見 方面 for Niitsu	
5		35	5
6		40	6
7			7
8			8
9	+26	14	9
10			10
11			11
12		39	12
13			13
14	25	36	14
15			15
16			16
17	50	5	17
18			18
19		35	19
20			20
21			21
22			22
23			23
0			0

2011年10月現在、列車はここから新見方面、木次線は各1日3本！

三次方面も7本しかない駅。

時間もお昼を迎え、この先どうするか？

ワビサビを感じながらゆっくり駅の見学でもするか？

周囲のロケハンでもやってみるか？

そういえばK先生が仕入れたお弁当があったはず。それをのんびりと頂くのもおつじゃあないかなあ～なんて

使われなくなった側線を覆い尽くす秋の草々を見ながら思うのであった。

③へつづく。

